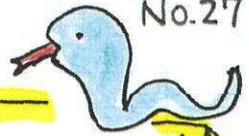


岩瀬書店 県庁売店 だより

No.27



新年を迎えると、今年こそは何かチャレンジしたい!!
という気分になります。

そんな時導いてくれる本があったらうれしいですよ

その世界をよく知る人が書きよく編まれた本は
その世界の「とびら」のようなもの
気になること、やりたいことがあるなら気軽にたいてみよう

本年も岩瀬書店 県庁売店をどうぞよろしくお願ひ致します

予約
始まりました!!

世界のお茶専門店ルピシアによる「体験するお茶の本」

「THE BOOK OF TEA Au Printemps」
ブックオブティー オ・フランタン

シリーズ 25弾のテーマはフランス語で「春に」を意味する
「Au Printemps」
オ・フランタン

春摘み紅茶やみずみずしいフルーツの香りの紅茶
花の香りをまとったハーブティーなど春を感じさせる
全30種のお茶が楽しめます

多彩な味わいはもちろん華やかなパッケージにも注目。
またお茶と一緒に封入されている小冊子にはお茶の説明や
おすすめの淹れ方が載っているのがうれしいです

気分に合わせて紅茶を選べる「ブックオブティー・オ・フランタン」は
フランチギフトにしておすそ分けにするのもおすすめ

毎日のくつろぎ時間を彩る紅茶で春の訪れを感じてみては?



県庁売店で
定期購読
できます!!

雑誌やコミックの発売日のたびに書店へ
行くのは一苦労ですよ
さらには発売日当日に購入できず欲しい商品
を逃してしまうなんてことも...

県庁売店では書籍の注文ができる他お取り置き
することも可能です(買い逃さないためにも
定期購読をおすすめしております)

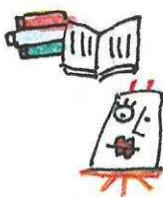
ぜひ店内にあります
岩瀬書店をご利用ください!!

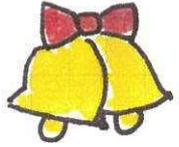
お問い合わせ

岩瀬書店
県庁売店

担当: 渡辺
石田・松本

内線: 4919
西庁舎 1階





。ギフトブック2024

暑い時期が長く続きましたが、そろそろ冬がやってくるようです
どこからともなくクリスマスソングが聞こえてきたら
ギフトシーズンの到来です

本をプレゼントしてみませんか？
話題の本やちょっとみかけない本など いろいろあります

本の時間はとてもいいものです
大切な人や一年がんばった自分自身に本を贈ってみては？



22年ぶりに大リニューアル!

集英社「学習まんが 世界の歴史」
おすすめポイントを徹底紹介!!

1. 最新の高次教科書・指導要領に沿った内容
2. ストーリー・ドラマとしておもしろく読みながら史実に沿って流れを理解できる
3. 全18巻 かなりのページ数でまとめてありますので教科書では触れられていない部分にも触れています

— 例えは... —

第一次世界大戦と第二次世界大戦の間の歴史はヨーロッパの出来事を中心に語られていますが、その頃の中東・西アジアで起きた事からについても一章使っています。ここ実は今の世界の情報にもつながるところなので、世界史の中心であるヨーロッパや中国から見るとこうだが、別の地域からの目線で見ると...という部分が充実していて、習った歴史とは違う解釈に触れられる機会にもなります。これから学ぶお子さまにはもちろんですが、大人も読んで新しい発見があります。

— 推したい読みどころ —

1巻「オリエントと地中海の文明」より
アメンホテプ4世の大きな決断



ファラオが信仰する神を変える決断することで、権力を持ちすぎた神官の勢力を一掃した宗教改革。古代エジプトの歴史では異例な出来事なのですが、まんがで読むと、そこでそんな会話が、あったかも想像できますし、ちょっとコミカルに見えてきて印象に残るシーンです。

岩瀬書店
県庁売店

担当: 渡辺・石田・松本

内線: 4919

お気軽に
お問い合わせ
ください!!

岩瀬書店
県庁売店だより
クリスマス特別号

今年もこの季節ぴったりの
ポップアップ絵本・しかけ絵本
大人も子どもも楽しめる
絵本が入荷しています

クリスマスカードも取りそろえて
おりますので気になる方はぜひ!!

また無料ラッピングサービスも
おこなっておりますので
お気軽にスタッフまでお声かけ
ください!

お待ちしております!!

担当: 渡辺・石田・松本
内線: 4919

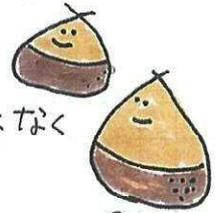
岩瀬書店 県庁売店だより



○ 残暑も終わり過ごしやすい季節になりました。
これから冬が来るまでは短くも最高の季節ですね

実った果実、脂ののった魚、甘くほろりとした野菜たちを味わったり
空気が澄んで高く抜けるような青空や
葉っぱが色づく樹々を愛したり

過ぎていく時間にあらがったり、ただはかなさを感じるのではなく
ささやかな出来事や遠回りに価値を見出して
機嫌よくすごしていきましょう



今日のおすすめ本

「バリ山行」 松永くに蔵

第171回芥川賞受賞作品

バリ山行とは「バリエーションレイト」の略で
登山道から外れやぶの中に分け入り進む
登山のこと

会社の(現実の)不安とバリ山行の危険な
道行きを交互に語ることで生の実感が
どこにあるのかがあぶり出されていきます
その一方で山頂の景色や緑豊かな自然
森の中で食べるカップラーメン・おにぎり
飲むインスタントコーヒー。街では味わえない
山の中でのリアリティ。それらを体験できる
すごい本です。山というのは鬼まするだけの
何かがあるのだなと改めて思わされました。



「残照の頂」 湊かなえ

イヤミスの女王とも言われている
湊かなえさんが描く山岳小説
登山を通して人生を回顧し再生に
進む山女達のストーリー

「しんどい時はそうやっていい過去に
経験したつらい日々はつらかった
と認めていい」と限界を感じた時
にもう一歩ふみだす力をくれます。

湊さんが実際に山に登り見た
景色が鮮明に描かれていて
登山にまったく縁のない自分を
自然にふれさせてくれました。
イヤミスじゃない湊かなえさんの本
はとても温かいです。

予約受付中

集英社「学習まんが世界の歴史」

世界の歴史が22年ぶりに全面リニューアル
新学習指導要領に対応した世界史まんが
これからの方も学び直したい方もこの機会に是非!!

吉川弘文館 福島歴史と人物「相馬一族の中世」

奥州の名族相馬氏。白河結城氏や伊達氏との抗争を経て
中村藩六万石の藩主になるまで、相馬一族は激動の中世を
どう生き抜いたのか…。支配圏の拡大や戦略を通して一族の歴史を描く!!

ご予約・お問い合わせ

担当: 渡辺・石田・松本

内線: 4919

直通: 080-4734-3753

